



学校では行事の多い2学期です。この2年間はコロナの影響によって多くの行事が中止・延期され、今年行事では「3年ぶりに」ということも多いのではないのでしょうか。コロナ前の状態に戻ることはありませんが、少しずつ新たな様式が見えてきましたね。新しいことには不安がつきものですが、前向きに進んで行きましょう！きっと、もっと素敵なことが生まれるはずですよ。

今月の礼拝 単元26: イスラエル王国の分裂

| 月日 | 週 題 | 聖書箇所 | ティーンズ礼拝 (小4～中学生以上) 9:00～9:30 | 分級 (小学生/中学生以上) 9:35～9:55 | こどもれいはい (幼児～小3) 10:00～10:20 |
|------------------|---------|--------------------|------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| 11月6日 | ヒビキヤ王 | 列王記下 18-19章 | 武岡 基 | 小・中 合同 クリスマスに向けて | 武岡路実 |
| 11月13日 子ども祝福式 | ヨシュア王 | 列王記下 22:1-23:25 | 安達正樹牧師 | 小・中 合同 クリスマスに向けて | 安達いづみ |
| 11月20日 収穫感謝日 | エルサレム陥落 | 列王記上 24-25章 | 林 小夜子 | 小・中 合同 クリスマスに向けて | 武岡 基 |

単元27: 救い主の預言と成就

| | | | | | |
|-----------------|----------|-----------------------|------|---------------------|--------|
| 11月27日 アドベント | 救い主誕生の預言 | イザヤ書 9:1-7 ミカ書 5:2 | 武岡路実 | 小・中 合同 クリスマスに向けて | 安達正樹牧師 |
|-----------------|----------|-----------------------|------|---------------------|--------|

10月30日(日)から分級の時間でクリスマスに向けて、クリスマス飾り作りを始めました。できる限り他の人との距離を取り、換気を徹底して実施しています。

分級への参加は自由ですので、礼拝のみの出席でも構いません。

子ども祝福式 11月13日(日) 10:30～(大人の礼拝始まるの時間に行います)

大人の礼拝の中で「子ども祝福式」を守ります。これは、教会に集う子どもたちの健やかな成長を教会員全体で祈ると共に、子どもたちが神さまからの祝福を受ける式です。

いつもの朝の礼拝もありますが、出席できる人は引き続き大人の礼拝へも出席してください。

収穫感謝礼拝 11月20日(日) いつもどおりの教会学校礼拝・こどもれいはい

野菜や果物を持ち寄り、神さまからの恵みに感謝します。

「収穫感謝日」は11月第4日曜ですが、今年は第4週の27日にアドベントに入るので、1週前の第3日曜に行います。



教会学校クリスマス礼拝・祝会 12月18日(日) 13:30～15:00 (詳細は次月号にて)

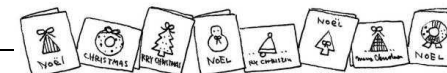
金城学院高等学校キャラバン隊のみなさんによる人形劇が今年もやって来ます♪

今年も昨年と同じようにコロナ対策のため、いつも教会に来ているみなさんを対象に催します。

今月の聖句

みことば ちか くるみ ところ
御言葉はあなたのごく近くにあり、あなたの口と心にあるのだから、
それを 行うことができる。
(申命記 30:14)

今月のさんびか♪



こどもさんびか 64 (きたりたまえわれらのしゅよ)

今月のさんびか「きたりたまえわれらのしゅよ」は、教会の暦としては少し早いですが、アドベント(イエスさまの誕生を待つ期間)の賛美歌です。

いつの時代にも、どの国にも、幼子としてお生まれになったイエスさまを祝う民衆の歌があります。フランス語でクリスマスを意味する「ノエル Noël」は中世に起源をもち、キリストの誕生を祝って歌われる歌です。12世紀以来、北フランスのボーヴェという町に、「歳の祝祭日」＝新年に歌われた歌「Prose de l'âne (ロバの賛歌)」が残っています。その日ボーヴェでは、マリアとキリストのエジプトへの避難の物語を劇として演じました。腕に幼子を抱いた女性がロバに乗り、人々はいろいろなクリスマスの民謡や単声聖歌を歌いながら大聖堂まで行進しました。このような習慣が、イギリスの「キャロル」やドイツの「クリスマスの歌(ヴァイナハツリートゥ Weihnachtslied)」とは一味違う、物語性に富んだフランス独特のクリスマスの歌「ノエル」を生んできました。また各地で、その地方の方言を用いたノエルも生まれました。17、18世紀には、こうしたノエルの旋律を用いたオルガンのための変奏曲が多く作曲されました。特に、クリスマス・イヴの深夜のミサ(カトリックの礼拝)で、オルガニストは多彩な音色を駆使して、ノエルによる演奏を繰り広げました。これらの作曲者を「ノエリスト」と呼んでいます。

「きたりたまえわれらのしゅよ」の曲はスイス民謡で SWISS NOEL という曲名が付けられています。この旋律は、スイスのフランス国境近くの地域で16世紀から歌われていました。民謡として口伝えて歌われて継がれてきたため、元々の詞から時代と共に歌詞が変わっていきました。日本での讃美歌としては1967年に『讃美歌第2編』に収録され、当時フランス大使館に勤務していたJ. カンドウさんによる詞を用いましたが、『讃美歌21』では元々の歌詞を基に、アドベントに合うように易しく訳し直した歌詞にして『こどもさんびか改訂版』にも採用されました。

2段目のフェルマータ(♯)から1オクターブ上がる音が上がりきらずに音程が取りにくくなりますが、フェルマータのところでは上の音を思い描いて(急な上り坂のてっぺんを見上げる感じで)思い切って1オクターブ上がりきって歌いましょう。

がたんじょうびおめでとう🎂

11月生まれのお友だち

「統一教会」ってキリスト教?!

この夏以降、「旧統一教会」「家庭連合」といった言葉がニュースや新聞で多く見られるようになりました。みなさんも何度も聞いたり、目にしたりしたのではないのでしょうか。「教会」とついているので、「一種のキリスト教?！」と誤ってしまいますが、まったく異なる考え方の団体です。現在では「世界平和統一家庭連合」という名称の団体ですが、1954年に韓国の文鮮明(ムン・ソンミョン)という人が自分自身を「再臨した救世主(メシア)＝神」であるとして「世界基督(キリスト)教統一神霊教会」として創設し、日本には、1958年に入ってきました。このかつての名称から、宗教学上はキリスト教系の「新宗教(本来の伝統的な宗教とは異なるもの)」とされ、日本では文化庁の扱いでは「キリスト教系の単立(他のキリスト教の宗教団体とは独立した団体)」とされています。一方で、ヨーロッパやアメリカでは「カルト宗教(宗教を装って犯罪行為などをする反社会的団体)」であると見なされ、中国では「邪教(反社会的な宗教的団体で危険性がある)」と政府が認定しています。「統一教会」の考え方には聖書が元になっている部分もありますが、本来のキリスト教とは違う独自の解釈をしています。こうしたことから、世界的にもカトリックやプロテスタントの教会ではない団体です。

もちろん、名古屋新生教会は「統一教会」とは何の関係もないので、これからも安心して教会に通ってください。